

学校だよりBIG TREASURE

大きな宝

児童数 511名

発行責任者

栗東市立大宝小学校

校長 坂東 靖記

発行日

令和7年4月28日

～子どもが輝く学校づくり～

令和7年度の学校生活がスタートして、1か月を迎えようとしています。

春に新芽をつけて、夏に向け徐々に葉をつけて生長していく木々のように、子どもたちも、それぞれ新しい学年、新しい学校での生活に、少しずつ慣れ、友だち関係も広げながら、学んでいます。



先週は、個別懇談会でした。進級や進学をしてからのお子様の様子について、お話させていただき、ありがとうございました。

4月の子どもたちは、新しい出会いや新しい場に心躍らせ、張り切って、自分のよさや頑張りを発揮しようとしています。多少、不安や心配があったとしても、その頑張ろうとするパワーで進んでいくのです。頼もしいものです。そのようにして、いつの間にか、不安や心配が減り、慣れていくのですね。

でも、そろそろ「頑張るパワー」も充電が必要な頃です。ゴールデンウィークはいろいろと予定があるかもしれませんが、詰め込み過ぎずに、パワーの充電も大切にしたいですね。

さて、本校は今年度、滋賀県教育委員会人権教育課の事業『子どもが輝く学校・園づくり研究推進事業』の指定を受けることとなりました。

令和5年4月1日施行のこども基本法では、全ての子どもについて「意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会」の確保が基本理念のひとつとされています。そこで、この事業では、学校における子どもの意見表明や社会参画について、その機会を確保する仕組み等、子どもの声を反映した学校づくりの実践研究を進め、その成果を県内学校・園等に発信する役割を担っています。

本校が大事にしている「だれもが楽しい学級（学校）を自分たちで創る」ことのより一層の充実とともに、「ほのぼの お互いの持ち味を認め合う」人権教育の深化を進め、個々の子どもの成長につなげたいと考えています。

事業では、アドバイザーや研究協力者になっていただく大学の先生や、県教育委員会による訪問支援が年数回あり、授業参観や教職員への講話をしていただきます。我々教職員にとっての良き研修の場とし、指導力向上に努めたい考えです。

つきましては、保護者の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お願い

◆放課後に、学校に忘れ物を取りに来ることは、緊急性が高い場合を除き、お控えくださいますようお願いいたします。家庭学習に関わる忘れ物については、翌日、子どもが学級担任にその旨を伝えるようにし、それ以降、自分で注意して持ち帰るように意識する気持ちを育てたいと思います。もし、来校される場合は、事前連絡にご協力ください。